

# 生命存続の 基本原理を 紐解く



理化学研究所・  
環境資源科学研究センター長、  
名古屋大学特別教授  
篠崎 一雄



名古屋大学特別教授  
岡崎 恒子

## 2017.9/16 土

会場: 名古屋大学豊田講堂

時間: 13:00 - 16:20

主催: 名古屋大学 共催: 中日新聞社

【申込締切】 2017年8月28日(月)必着

※当落の結果ははがきにて通知させていただきます。

【申込方法】 郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・職業・電話番号・希望人数(本人含む4名様まで)・メールアドレスを明記の上、郵送(〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学高等研究院 事務室宛)してください。応募は1人1通までとさせていただきます。名古屋大学高等研究院ホームページ(<http://www.iar.nagoya-u.ac.jp/>)やQRコードからも申し込みいただけます。



**参加無料**

どなたでも参加できます

名古屋大学レクチャー2017に関する  
お問い合わせは

名古屋大学高等研究院  
TEL.052-788-6153



### プログラム

- 12:30~ 開場
- 13:00~ 開会の挨拶 (名古屋大学総長 松尾 清一)
- 13:05~ 解説講演 (名古屋大学理学研究科教授 木下 俊則)
- 13:25~ 名古屋大学レクチャー講演  
厳しい環境で生きる植物の生存戦略  
— 植物遺伝子の働きと制御 —  
理化学研究所・環境資源科学研究センター長、篠崎 一雄
- 14:25~ 休憩
- 14:40~ 名古屋大学レクチャー楯 贈呈式
- 14:55~ 解説講演 (名古屋大学理学研究科名誉教授 町田 泰則)
- 15:15~ 名古屋大学レクチャー講演  
私がつとった研究の道  
— DNAの不連続複製機構からヒト染色体構築まで —  
名古屋大学特別教授 岡崎 恒子
- 16:15~ 閉会の挨拶 (高等研究院長 篠原 久典)

\*進行状況により終了時刻が多少前後する場合があります。

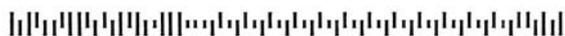
4 6 4 - 8 7 9 0

千種局承認

9082

差出有効期間  
平成31年3月  
31日まで

名古屋市千種区不老町

名古屋大学  
高等研究院事務局 行

## 名古屋大学レクチャー 2017参加申込書

氏名	ふりがな	
郵便番号	職業・所属	1. 中・高校生 2. 大学生 3. 社会人 4. その他
住所	※該当する番号に○をつけてください	
	希望人数	名(本人含む)
電話番号	FAX番号	
E-mail		

イベント情報の提供(E-mailのみ)  希望する  希望しない  
\*全ての欄にご記入ください

## 申し込み方法

WEB <http://www.iar.nagoya-u.ac.jp>

携帯電話 携帯用QRコード ▶



上記Webページにアクセスしていただき、  
申込フォームより、申してください。

郵送 左記に必要な事項を記入し、郵送(別紙も可)  
してください(1応募4名様)

応募多数の場合は、抽選にて、参加者を決めさせていただきます。  
ご参加いただける方には、はがきにて通知させていただきます。  
※通知はがきのない方の入場は出来ません。

名古屋大学は、イベント等へお申し込みいただいた方個人に関する情報(以下、「個人情報」といいます)について、個人情報保護法及び関連するその他の法令・規範を遵守し、適切な保護と厳正な管理に努めます。

なお、名古屋大学は一般の方を対象としたイベントを随時開催していますので、希望される方には可能な限りE-mailによりイベント情報をお送りします。希望される方は、左記にチェック願います。

**申込締切 2017年8月28日(月)必着**

## 交通のご案内

地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車、2番出口すぐ  
駐車場は準備していませんので、公共交通機関をご利用ください。

## お問い合わせ

〒464-8601 名古屋大学 高等研究院  
TEL(052)788-6153

ホームページ <http://www.iar.nagoya-u.ac.jp>

電子メール [iar@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:iar@adm.nagoya-u.ac.jp)

## 名古屋大学レクチャー2017

## 生命存続の基本原則を紐解く

「名古屋大学レクチャー」は、名古屋大学にゆかりのある世界最高水準の高名な研究者の講演を広く一般市民の皆様にも公開して、学問の先端「知」に触れて頂くものです。

地球上には人間をはじめ様々な動物や植物、さらには目に見えない小さな微生物まで、多種多様な生物が生命活動を営んでいます。また、地球には北極や南極などの極寒地もあれば赤道直下の灼熱地、海もあればほとんど雨の降らない乾燥地もあります。しかしそのすべての環境で生き物たちはうまく適応し、生命を繋いでいます。

生物の基本単位は細胞ですので、「生きる」ということは細胞が分裂をして増えていくことに他なりません。細胞が分裂するときには生命の設計図と呼ばれる「DNA」を正確に複製して、分裂して増えた細胞にもそれを受け継ぎます。つまりDNAの複製は生命存続のための根本的な現象といえます。

本年の名古屋大学レクチャー2017では、岡崎恒子博士と篠崎一雄博士にご登壇いただきます。岡崎恒子博士(文化功労者)は、岡崎令治博士とともにDNAが不連続複製されていくときにできる「岡崎フラグメント」を発見された方です。「岡崎フラグメント」は世界中の生物学の教科書に記述されているほど重要なもので、名古屋大学が世界に誇る研究成果の1つとなっています。篠崎一雄博士(文化功労者)は岡崎研究室出身で、植物の環境ストレス応答の研究に進まれ、乾燥ストレス応答と耐性獲得機構の解明をされました。乾燥ストレスは世界の農業生産を脅かす最も深刻な環境要因の1つですので、篠崎博士の研究成果のインパクトは非常に高く、今後の応用展開が期待されています。

このような生命存続の基本原則にかかわる素晴らしい研究成果がどのように生まれたのか。当時の時代背景なども織り交ぜながら、わかりやすく講演いただきます。また、名古屋大学の専門家の先生に解説講演もお願いしてあります。この機会をどうぞお見逃しなく、存分にお楽しみください。